

東日本大震災における罹災証明・被災者 支援事業ワンストップ化システムの構築

畑山満則¹・平山茂樹²・須藤弘幸³・吉川耕司⁴・臼井真人⁵・安藤恵⁶

¹ 京都大学防災研究所

E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp

² 那須烏山市

³ 十日町市

⁴ 大阪産業大学

⁵ 三重大学

⁶ 京都大学

東日本大震災では、津波被害の激しかった岩手県、宮城県、福島県のみならず、北海道、青森県、茨城県、千葉県、栃木県など広域に渡り多くの被害を出した。本報告では、地理情報システム学会東日本大震災支援チームの活動として行われた栃木県那須烏山市における罹災証明発行と罹災証明を根拠とする支援事業のワンストップサービスを可能にしたシステムに関して報告する。位置情報と時間情報を同時に管理することによりシステムは構築され、それにより被災者と行政の間に信頼関係を生むことにつながるメカニズムまでを説明する。

キーワード：東日本大震災，罹災証明，時空間 GIS